

## 現地踏査活動

### ▲田子の森 (青森県)

平成10年  
植樹

- ・スギ、ヤマグリが順調に生育。
- ・尾根の箇所では植栽したキハダに代わってモミジ類やミズナラなどが覆っている。
- ・林内全体にイタヤカエデ、オオモミジ、ミズナラ、ホウノキ、カツラほかの多様な樹種が自然発生。



↑スギの状況



↑クリの状況

### ▲大原の森 (山口県)

平成9年  
植樹

- ・植栽木の生育は良好。
- ・森の入り口が急斜面で、落石も危惧されるため、入林には注意が必要。
- ・全体的にツルが散見され、除伐にあわせて、つる切の施業が必要。



↑ケヤキの状況



↑ヤマザクラの状況

### ▲夏泊の森 (青森県)

平成5年  
植樹

- ・スギの一斉林。植栽したスギが順調に生育し、林内に大きなギャップなし。
- ・東南部分は急傾斜だが、林内は比較的明るく、西北部分は傾斜が緩いが、林内が少し込み合って暗く、細い立木の割合が高い。



↑スギの状況(尾根)



↑スギの状況(下部)

### ▲えびのの森 (宮崎県)

平成7年  
植樹

- ・主な植栽木であるイチイガシ、スギについては順調に生育。
- ・サザンカ、ケヤキ、シラカシなど多種多様な広葉樹が多く発生しており、今後、適度な針広混合林になっていくことが期待される。



↑スギの状況



↑イチイガシの状況

### ▲むつの森 (青森県)

平成17年  
植樹

- ・植栽木のミズナラとヒバは残存率が高く、順調に生育。
- ・林内は、ミズナラが広範囲にわたって発生し、スギ、アカマツ、ホウノキ、イタヤカエデ、クリなどが点在。
- ・ケヤキを植栽した区域は湿地化しており、ヤナギ、ハンノキ、ヤマハンノキが侵入。



↑ヒバの状況



↑アカマツの状況

### ▲伊豆の森 (静岡県)

平成15・16年  
植樹

- ・傾斜が緩く平坦な森で、周辺には旧天城トンネル、天城歩道などの観光名所があり、ボランティア活動などで活用できる森。
- ・植栽したスギは順調に生育。コナラとクヌギは森の周囲にあるシカ柵付近に残存。
- ・コナラ・クヌギの中央部分はシカ被害にあった(代わりにシカが食べないカヤが繁茂)。



↑スギの状況



↑クヌギの状況

### ▲徳地の森 (山口県)

平成6・14年  
植樹

- ・植栽木は残存率が高い。
- ・ヒノキは過密な状況で、林内は照度不足のため早急に間伐が必要。
- ・林内は傾斜が緩く平坦で、ボランティア開催の適地。



↑ヒノキの状況



↑看板から撮った  
森の全景